



サローネサテリテ 2018: 新しいデザインの到来

第 21 回サローネサテリテでは、美の本質を追求することで、未来のデザインに新しい美を創り出すことへ挑戦します。

1998 年から始まったサローネサテリテは、35 歳以下の若手デザイナーにあらゆるチャンスを与える登竜門。今年、サローネサテリテはロー市の見本市会場「フィエラミラノ」で、ホール 13-15、2,800 m²の展示スペースを 650 名のデザイナーが埋め尽くします。会期中通して一般の方も入場可能。カーゴ 4 番からの入退場は入場無料です。

サローネサテリテの挑戦は、次世代のデザインが、機能や美しさより完璧なバランスを形作る方法を探り出すことです。今年、併催するマルチメディア展、「アフリカ&ラテンアメリカ:ライジング・デザイン」と同じテーマを掲げ、南半球に着目しています。

今年も審査員は業界の著名な面々で構成され 650 名のデザイナーが選出されました:

マウリツィオ・リーヴァ: CEO Riva 1920

ロベルト・ミノッティ: CO-CEO Minotti

ジャンルカ・ジェッシ: GESSI 社長

リッカルド・ベッロ・ディアス: 建築家

ステファノ・ショルテン: デザイナー

ステファノ・ジョヴァンノーニ: デザイナー

ルチャーノ・クオモ: DDN 編集員

スザンネ・シュワルツ: Spectrooms 編集長

パトリツィア・マルファッティ: ミラノサローネ・コミュニケーション&プレスオフィス責任者

マルヴァ・グリフィン・ウィルシャー: サローネサテリテ審査委員長

第 9 回サローネサテリテ・アワードは、起業家とデザイナー、創造と生産の間の需要と供給を促進する更なるステップです。このアワードはデザイン界で国際的著名人によって上位 3 位が選ばれます。

パオラ・アントネッリ: Senior Design Curator MOMA

アンマリー・バイルシュミット: *Welt Am Sonntag*

クリストフ・グベラン: デザイナー

クリスティーナ・グレハレス: Cristina Grajales Gallery

ダニエラ・ファンティーニ: **Fantini**

ジュリオ・フェルトリン: Arper 社長

マッシモ・イオサ・ギーニ: 建築家

ミケーレ・ルピ: *Icon*

山根太郎: サンワカンパニー社長



受賞者たちの受賞作品はコンサルタントとプレスオフィスのサービスが保証されます。2017年からはインターザ・サンパオロ銀行から 5,000 ユーロの賞金与えられることになり、今年は、よりテーマに沿った作品を作った才能あるデザイナーが審査員によって選ばれ、授与されます。

授賞式は、4月18日 15:00 サローネサテリテ会場のアリーナにて行われます。

今年もサローネサテリテはミラノの百貨店、リナシェンテとコラボレーションします。2018年サローネサテリテに出展した若きデザイナーたちがデザインした作品の中から選ばれ、2018年クリスマスに向けて、秋からドウオモ広場のリナシェンテ百貨店内、ミラノ・デザインスーパーマーケットで展示販売されます。

今年特筆すべきニュースは、サローネサテリテが、イタリア文化財・文化活動省(MiBACT)の欧州委員会によって2018年文化遺産に登録されたことです。この取り組みは、欧州文化遺産の保護に貢献する人たちを支援し、欧州経済の資産と資源として、文化遺産の価値をより深く認識することを目指しています。サローネサテリテは委員会に挙げられているイニシアティブ(雇用創出、地方開発、観光、社会参加、コミュニティ参画、アイデンティティ構築)に参加するための条件に十分応えています。このニュースは、持続可能なプロジェクトを目指すサローネサテリテが排出する若きタレントたちのキャリアを応援するオマージュとなるでしょう。

2018年サローネサテリテ: オンライン・カタログ

www.salonemilano.it/manifestazioni/salone-satellite.html

2018年4月17日ミラノ

Salone del Mobile.Milano Japan Press PR

Yuki Yamamoto - yuki@milanosalone.com - www.milanosalone.com